

令和4年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

県南会場

科目 ①放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容

- ◆ 放課後児童健全育成事業とは、保護者が仕事の都合で家庭にいないことが常態となっている小学生を対象に、家庭と地域等の連携のもと、発達段階に応じた主体的な遊びと生活の場を提供するため、心身ともに健全な育成を図る事業であると知りました。児童と保護者が安心して利用できる場所となるよう環境を整備して、安全面に配慮しながら成長と自立を促し、日常的に情報を家庭に伝えて保護者が安心して子育てと仕事を両立できるよう支えていきたいと思えます。
- ◆ この科目では、普段目にすることのない放課後児童クラブの設置根拠・設備運営基準・運営方針について学ぶことができました。私が子育てをしていた時期は、親との同居の中で子どもを見守ってもらえたので、不便に感じることはなく、仕事を続けていける安心感がありました。現在は核家族が増え、放課後児童クラブの利用が拡大しています。実施主体である市町村で放課後児童クラブの質の向上や機能の充実に努める必要性がある一方、私たち職員も常に学習意欲をもち、柔軟な支援ができるよう心がけたい。
- ◆ 放課後児童クラブの現場では、子どもの見守りや安全面への配慮を中心に意識していますが、今回はその根幹となる制度や目的について学びました。放課後児童クラブの現状や少子化が進行する中でも変わらないニーズがあることを知り、改めて求められている役割に気付く機会となりました。私自身、専門性を身に付けていきたいと思いました。
- ◆ 放課後児童クラブが設置されていることは知っていましたが、厚生労働省令で定められていることや市町村の条例で定められていることなど、たくさんの規定に基づいて運営されていることを知りました。時代が刻々と変わり、核家族が増えていることから、放課後児童クラブがより必要とされていることも学びました。子どもの数は少なくなるばかりなのに、放課後児童クラブを利用する子どもの数が増えている現状を知り、利用する子どもたちの成長や心のあり方をこれからも大事にしていきたいと思いました。
- ◆ 放課後児童クラブの目的や役割、設備運営基準について学ぶことができました。秋田県は少子化が進んでいるにも関わらず、放課後児童クラブ数も利用児童数も増加傾向にあります。核家族化や女性の就業率の向上により、今後も増えていくと考えられるので、放課後児童クラブを実施する場所や職員を確保していく必要があります。そのためにも私たち職員が事業内容を向上させる努力をし、放課後児童健全育成事業の質を高めることができるよう努めていきたいと思えます。